

第 22 回通常総会資料

- 1、日 時 令和 6 年 5 月 12 日(日)11 時開会
- 2、会 場 サーフビレッジ多目的ホール
神奈川県藤沢市鶴沼海岸 1-17-3
- 3、式次第
 - ① 開会の辞
 - ② 議長選出
 - ③ 議 案
 - 第 1 号議案 令和 5 年度事業報告（案）承認に関する件
 - 第 2 号議案 令和 5 年度会計報告（案）承認に関する件（当日掲示）
 - 第 3 号議案 令和 5 年度監査報告に関する件（当日掲示）
 - 第 4 号議案 役員等変更に関する件
 - 第 5 号議案 令和 6 年度事業計画（案）承認に関する件
 - 第 6 号議案 令和 6 年度予算書（案）承認に関する件（当日掲示）その他
 - ④ 議長解任
 - ⑤ 閉会の辞



特定非営利活動法人

西浜サーフライフセービングクラブ

第1号議案

令和5年度事業報告書

自：令和5年4月1日 至：令和6年3月31日

特定非営利活動法人
西浜サーフライフセービングクラブ

- ① 夏季海水浴場等における監視・救助活動事業（パトロール事業） **3,715,142円**
1. 夏季監視救助活動（西浜海岸、東浜海岸、江ノ島岩屋その他）
7月775名、8・9月1,080名、延1,855名
 2. ライフガードテスト4月～・夏季ガード顔合わせ6月・夏季準備の実施6月・パトロール審査会参加11月
 3. 各種訓練（チーフ研修会11月～翌6月、症例検討会・勉強会2月3月、リクルート関連活動3月～、スキルアップ講習会・通年、シーズン直前シミュレーション5月）
- ② 水辺の各種スポーツイベントを安全面から支援し振興を図る事業（イベントパトロール事業） **1,249,582円**
1. イベント等の監視救助活動……………KLA 神奈川選手権：三浦海岸(5月)25名
サーフヒーローズ：関東各地(4月5月6月)21名
オープンウォーター：大磯(6月)5名
JLA 南関東予選：三浦海岸(9月)25名
JLA 全日本選手権：西浜(10月)25名
 2. サーフビレッジ資器材整備・清掃
 3. IRB・PWC 練習会、国内大会参加、2024LWC にチーム派遣……………毎月開催
 4. シーバード西浜……………横浜ボートショー栈橋警備：横浜(3月)1名
シーバード JET カレッジ:北海道(12月)2名
 5. 船舶免許取得の推進、IRB 普及に向けた競技会への参加
- ③ ライフセービング活動による水辺の安全、教育事業（ジュニアユース事業） **12,002,444円**
1. 年間ジュニアユースプログラムの開催……………基本的に月2回
片瀬西浜及びアクラブ藤沢で実施。参加者約80名
夏季短期プログラム（未実施）
各種ジュニアライフセーバー教室の開催（1日体験）（未実施）
 2. ライフセービングプログラムの開催……………未就学児、知的障害者等を対象（未実施）
 3. ジュニアユース保護者対象プログラム……………保護者会の開催（参加者約100名）、
資格取得サポート等（参加者10名）
 4. 各種大会、藤沢市協働事業（延10名）

④ 海岸等に関する環境保全活動及び地元地域を繋げる事業（環境イベント事業） 131,012 円

1. ビーチクリーン・殿網清掃の開催……………毎月第2日曜日 計12開催
5月雨天中止により計11回開催/延べ参加人数：約450名
2. オーシャンクリーンの開催……………2回開催(4,11月)
Billabongさんと7・11月、一般社団法人NAMIMATIさんと11月にコラボイベント延80名
3. 内部イベントの開催……………通常総会・春のクラブ会(4月)
夏クラブ会の開催(8月)中止
秋のクラブ会：西浜カップ(10月)
4. 外部イベントの開催……………西浜区町内会 地引網(9月)未実施
新春餅つき大会「冬のクラブ会」山本公園(1月)雨天中止

⑤ ライフセービングスポーツに関する事業（スポーツ推進事業） 2,743,366 円

1. ライフセービング競技会への参加……………全日本
プール選手権、全日本選手権、全日本SERC選手権、JUM選手権、その他地域大会 延300名
2. 練習会及び合宿の開催……………練習会(オーシャン、ビーチ、プール)(通年)
ライフガードテスト(4月～8月)
西浜合宿(3月)
延500名
3. クラブ員交流イベントの開催……………西浜カップ(10月)200名
4. JLAハイパフォーマンスプログラム強化指定選手エントリー（10名）

⑥ ライフセービングの資格講習会及び安全指導に関する事業（育成事業） 714,657 円

1. JLA Academy 資格講習会開催……………アドバンス(2月計5名)
ベーシック(6月7月8月計31名)
BLS(6月7月計14名)・WS(6月7月計12名)更新(10月2月2月3月計32名)
2. NISHIHAMA learning の開催……………クラブ員同士の学び合い場(勉強会)実績なし
3. ※地域への安全普及活動実施(サポート講習会)……………アクラブ藤沢でWS(2月計10名)
藤沢市防災キャンプでBLSデモ(3月)

その他、管理部門〈事務局など〉 6,296,434 円

- ・ JLA・KLA 主催パトロール報告・総会への参加
- ・ JLA への役員・専門委員の派遣
- ・ 各種関連会議への参加
- ・ 地域イベントへの参加
- ・ クラブスポンサー獲得へ向けての渉外活動
- ・ クラブ内外へ向けての情報発信（HP・FB やインスタ等の各種 SNS パンフレット等）
- ・ 会員・会計・器材の管理
- ・ 理事会開催（月1回の定例会）

以 上

貸借対照表

令和6年3月31日現在

特定非営利活動法人西浜サーフライセービングクラブ

(単位:円)

科目	金額	
I 資産の部		
1.流動資産		
現金	173,875	
小口現金	671,704	
当座預金	4,552,371	
当座預金	1,884,000	
普通預金	2,235,771	
普通預金	2,450,846	
普通預金	8,388,146	
普通預金	295,239	
未収入金	1,176,450	
流動資産合計		21,828,402
2.固定資産		
(1)有形固定資産		
造作	1,108,099	
機械装置	573,671	
船舶	371,608	
車両運搬具	1	
器具備品	2	
有形固定資産計	2,053,381	
固定資産合計		2,053,381
資産合計		23,881,783
II 負債の部		
1.流動負債		
未払金	855,891	

科 目	金 額		
預り金	4,593		
流動負債合計		860,484	
2.固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			860,484
Ⅲ正味財産の部			
前期繰越正味財産		21,825,192	
当期正味財産増減額		1,196,107	
正味財産合計			23,021,299
負債及び正味財産合計			23,881,783

活動計算書

令和 5年 4月 1日 から 令和 6年 3月 31日 まで

特定非営利活動法人西浜サーフライフセービングクラブ

(単位:円)

科 目	金 額	
I 経常収益		
1. 受取会費		
正会員	427,000	
一般会員	1,020,000	
高校生会員	82,000	1,529,000
2. 受取寄附金		1,113,000
3. 受取助成金等		85,356
4. 事業収益		
パトロール委員会	9,798,549	
イベントパトロール委員会	990,550	
ジュニア・ユース委員会	10,725,660	
育成委員会	1,080,764	
スポーツ推進委員会	1,725,630	24,321,153
5. その他収益		
受取利息	141	
その他	1,436,800	1,436,941
経常収益計		28,485,450
II 経常費用		
1. 事業費		
(1)人件費		
給料手当	10,458,000	
福利厚生費	1,632,504	
人件費計	12,090,504	
(2)その他経費		
諸管理費	1,137,466	
物品購入費	1,700,653	

科 目	金 額	
通信費	310,773	
水道光熱費	22,183	
消耗品費	963,576	
修繕費	626,526	
保険料	230,030	
支払家賃	300,000	
燃料費	338,059	
交際接待費	38,315	
賃借料	1,575,070	
広告宣伝費	62,940	
旅費交通費	1,069,084	
雑費	527,730	
その他経費計	8,902,405	
事業費計		20,992,909
2. 管理費		
(1) 人件費		
給料手当	600,000	
福利厚生費	482,627	
人件費計	1,082,627	
(2) その他経費		
広告宣伝費	286,000	
旅費交通費	85,700	
通信費	129,184	
水道光熱費	1,261,656	
消耗品費	2,800	
保険料	70,549	
租税公課	494,700	
交際接待費	44,174	

科 目	金 額		
支払家賃	720,000		
減価償却費	689,864		
顧問報酬	385,000		
事務費	173,433		
登録料	60,000		
雑費	810,747		
その他経費計	5,213,807		
管理費計		6,296,434	
経常費用計			27,289,343
当期経常増減額			1,196,107
Ⅲ 経常外収益			
経常外収益計			0
Ⅳ 経常外費用			
経常外費用計			0
当期正味財産増減額			1,196,107
前期繰越正味財産額			21,825,192
次期繰越正味財産額			23,021,299

財務諸表の注記

1. 重要な会計方針

財務諸表の作成は、NPO法人会計基準（2010年7月20日 2017年12月12日最終改正 NPO法人会計基準協議会）によっています。

- (1) 固定資産の減価償却の方法
有形固定資産は、法人税法の規定に基づいて以下のとおり償却をしています。
建物付属設備・・・定額法、定率法
機械装置・・・定率法
船舶・・・定率法
車両運搬具・・・定率法
器具備品・・・旧定率法、定率法
- (2) 消費税等の会計処理
消費税等の会計処理は、税込方式によっています。

2. 事業費の内訳

(単位：円)

科目	パトロール事業	イベント/パトロール事業	ジュニアユース事業	環境イベント事業	スポーツ推進事業	育成事業	60周年事業	事業部門計	管理部門	合計
I 経常収益										
1.受取会費									1,529,000	1,529,000
2.受取寄附金									1,113,000	1,113,000
3.受取助成金等									85,356	85,356
4.事業収益	9,798,549	990,550	10,725,660		1,725,630	1,080,764		24,321,153		24,321,153
5.その他収益		368,300	848,500		220,000			1,436,800	141	1,436,941
経常収益計	9,798,549	1,358,850	11,574,160		1,945,630	1,080,764		25,757,953	2,727,497	28,485,450
II 経常費用										
(1) 人件費										
給料手当	72,000	630,000	8,470,000		680,000	606,000		10,458,000	600,000	11,058,000
福利厚生費	620,311	19,312	588,565	23,481	93,971	38,162	248,702	1,632,504	482,627	2,115,131
人件費計	692,311	649,312	9,058,565	23,481	773,971	644,162	248,702	12,090,504	1,082,627	13,173,131
(2) その他経費										
諸管理費	1,137,466							1,137,466		1,137,466
物品購入費			1,441,253		259,400			1,700,653		1,700,653
通信費	207,903	16,680	78,396			3,544	4,250	310,773	129,184	439,957
水道光熱費	22,183							22,183	1,261,656	1,283,839
消耗品費	560,266	96,608	231,668	26,527	29,911	14,398	4,198	963,576	2,800	966,376
修繕費	260,063	60,034	306,429					626,526		626,526
保険料	104,400	112,130	13,500					230,030	70,549	300,579
租税公課								0	494,700	494,700
交際接待費	12,055	9,533	8,508		8,219			38,315	44,174	82,489
科目	パトロール事業	イベント/パトロール事業	ジュニアユース事業	環境イベント事業	スポーツ推進事業	育成事業	60周年事業	事業部門計	管理部門	合計
支払家賃	300,000							300,000	720,000	1,020,000
減価償却費									689,864	689,864
燃料費	21,887	138,692	102,442		68,318	6,720		338,059		338,059
賃借料	134,991		77,570		1,354,609	7,900		1,575,070		1,575,070
顧問報酬									385,000	385,000
事務費									173,433	173,433
登録料									60,000	60,000
広告宣伝費				62,940				62,940	286,000	348,940
旅費交通費	206,544	93,928	471,838	13,458	245,268	37,418	630	1,069,084	85,700	1,154,784
雑費	55,073	72,665	212,275	4,606	3,670	515	178,926	527,730	810,747	1,338,477
その他経費計	3,022,831	600,270	2,943,879	107,531	1,969,395	70,495	188,004	8,902,405	5,213,807	14,116,212
経常費用計	3,715,142	1,249,582	12,002,444	131,012	2,743,366	714,657	436,706	20,992,909	6,296,434	27,289,343
当期経常増減額	6,083,407	109,268	△ 428,284	△ 131,012	△ 797,736	366,107	△ 436,706	4,765,044	△ 3,568,937	1,196,107

3. 使途等が制約された寄付等の内訳

使途等が制約された寄付等の内訳は以下の通りです。当法人の正味財産は23,021,299円ですが、そのうち3,713,294円はサーフボード購入、サーフボード輸入輸送費、周年記念事業及びワールドマスターズゲームス海外大会等遠征に使用される財産です。したがって、使途が制約されていない正味財産は19,308,005円です。

内容	前期繰越額	当期受入額	当期減少額	次期繰越額	備考
サーフボード積立金	1,000,000	0	0	1,000,000	サーフボード購入のための積立金
サーフボード輸入輸送費積立金	400,000	0	0	400,000	サーフボード輸入輸送費積立金
周年記念事業積立金	2,000,000	1,064,394	1,501,100	1,563,294	周年記念事業を行うための積立金
ワールドマスターズゲームス海外大会等遠征積立金	600,000	150,000	0	750,000	ワールドマスターズゲームス海外大会等遠征積立金
合計	4,000,000	1,214,394	1,501,100	3,713,294	

4. 固定資産の増減内訳

科目	期首取得価額	取得	減少	期末取得価額	減価償却累計額	期末帳簿価額
建物付属設備	3,758,888	499,000	0	4,257,888	3,149,789	1,108,099
機械装置	713,570	0	0	713,570	139,899	573,671
船舶	2,987,512	0	0	2,987,512	2,615,904	371,608
車両運搬具	1,150,000	0	0	1,150,000	1,149,999	1
器具備品	766,850	0	0	766,850	766,848	2
合計	9,376,820	499,000	0	9,875,820	7,822,439	2,053,381

財 産 目 録

令和 6年 3月 31日

摘 要	内 訳	金 額
資 産 (流 動 資 産)		
現 金	手許残高	173,875
小 口 現 金	パトロール委員会 52,655 イベントパトロール委員会 130,788 ジュニア・ユース委員会 191,203 育成委員会 42,063 スポーツ推進委員会 131,481 環境イベント委員会 123,514	671,704
当 座 預 金	日本郵政公社 4,552,371 日本郵政公社 1,884,000	6,436,371
普 通 預 金	横浜銀行 片瀬支店 2,235,771 日本郵政公社 2,450,846 横浜銀行 片瀬支店 8,388,146 住信SBIネット銀行 295,239	13,370,002
未 収 入 金	ジュニア・ユース会費2月・3月分	1,176,450
(流 動 資 産 計)		21,828,402
(固 定 資 産)		
造 作	シャワー室他 1 艇庫屋根 1 トイレ他防水工事 336,960 シャワー工事 274,923 有圧換気扇 496,214	1,108,099
機 械 装 置	船外機	573,671
船 舶	IRB 船舶 1 IRB 船舶 371,607	371,608
車 両 運 搬 具	四輪バギー	1
器 具 備 品	パソコン一式 1 トレーニング機器 1	2
(固 定 資 産 計)		2,053,381
資 産 合 計		23,881,783
負 債 (流 動 負 債)		
未 払 金	給料・賃金3月分 852,010 夏季男子寮ガス代 3,881	855,891
預 り 金	源泉所得税	4,593
(流 動 負 債 計)		860,484
負 債 合 計		860,484
正 味 財 産		23,021,299

第3号議案

特定非営利活動法人 西浜サーフライフセービングクラブ
第22回 通常総会議長 殿

令和5年度会計監査報告書

令和5年度会計報告書につきまして監査した結果、
適正かつ公正に処理されておりましたので、ここに
ご報告いたします。

令和6年5月12日

特定非営利活動法人
西浜サーフライフセービングクラブ

監事 宮野 実



第4号議案

役員の変更について

下記左欄に記載する者の辞任を承認し、右欄に記載する者を役員に選任する。新たに選任される者の任期は、定款第16条の規定により、2年間とする。

－記－

辞任役員氏名	新役員氏名
理事 長谷 雄大	理事 新井 大介
	監事 相澤 庄太

新役員

役職（担当）	氏名
理事長	篠 岳瑠
副理事長（育成事業兼務）	石川 修平
副理事長（イベントパトロール事業兼務）	浜地 憲太郎
理事（パトロール事業）	上野 凌
理事（イベントパトロール事業）	浜地 憲太郎
理事（ジュニアユース事業）	村山 貴司
理事（環境イベント事業）	新井 大介（新任）
理事（スポーツ推進事業）	片平 悠理亜メリッサ
理事（育成事業）	石川 修平
監事	宮野 実
監事	相澤 庄太

以上

2024年度 特定非営利活動法人西浜サーフライフセービングクラブ組織図

理事会

○事務局
 早川 慶太郎
 伊藤 光宏
 大谷 健将
 和田 桂子
 松山ミッシェル
 実香
 相馬 翔太
 新井 大介
 高野 いづみ

○宿長
 富田 和佳子

特別P (国際部)
 鈴木 慎一

理事長
 篠 岳瑠

監事
 相澤 庄太
 宮野 実

副理事長
 浜地 憲太郎

副理事長
 石川 修平

理事
 (環境イベント)
 新井 大介

理事
 (育成)
 石川 修平

理事
 (イベントP)
 浜地 憲太郎

理事
 (パトロール)
 上野 凌

理事
 (ジュニアユース)
 村山 貴司

理事
 (スポーツ推進)
 片平 悠理亜メリッサ

委員長
 (環境イベント)
 内堀 夏怜

委員長
 (イベントP)
 酒井 雄吾

委員長
 (パトロール)
 遠藤勝久

委員長
 (ジュニアユース)
 園田 俊

委員長
 (スポーツ推進)
 勝部 興

○副委員長
 塚越 心

○委員
 高木 湊太
 佐藤 慶太
 伊藤 光宏
 長谷 雄大
 河西 亮佑
 亀谷 重思
 丸塚 浩晃
 城森 勇輝
 大谷 健将
 藤平 弘子
 坂入 綾菜
 青木 優一郎
 大内 みのり
 増田 雄也
 日和田 日和
 新川 翔吾
 酒井 貴太
 大川 佳太
 高橋 勇人
 細金 さくら
 今井 柚歩
 志賀 海征
 清水 大
 桑名 君佳
 町田 大智
 渥美 緩奈

○副委員長
 西田 昌貴

○委員
 浜地 憲太郎
 風間 隆宏
 植木 将人
 坂入 綾菜
 前田 陸
 橋本 真生
 園田 俊
 原 伸輔
 飯塚 剛志
 今井 恵子
 易 礼美
 奈良部 元春
 稲葉 怜
 坂本 真徳
 大川 莉奈

○副委員長
 金川 もも
 間根山 花子

○委員
 石井 誠
 手島 七海
 吉本 翔
 秋田 宗吾
 関川 莉歩
 金川 もも
 近藤 大樹
 黒須 智晴
 山田 光輝
 山田 海斗
 大矢 健人

岸 瑛心(兼)
 吉川こみち(兼)

○副委員長
 坂本真徳
 北川健太郎

○委員
 志賀 宏行
 田中 彰
 篠 岳瑠
 原 伸輔
 山崎 敦
 河西 亮佑
 大谷 健将
 篠原 衛
 新部 愛海
 藤井 真凜
 井出 駿悟
 小林 夢
 酒井 雄吾
 内堀 夏怜
 前田 葵
 桑名 君佳

橋本 敦
 相澤 庄太
 鈴木 慎一
 石川 修平
 加藤 拓馬
 山本 聡美
 園田 俊
 増岡 みづき
 廣田 諒
 新川 将吾
 秋山 直輝
 手島 七海
 高橋 勇人
 金川 もも
 井上 祐里
 村尾 美海

○副委員長
 大谷 健将
 具志堅 夕

(ジュニア低学年)
 具志堅夕 羽富麗心
 前田葵 浜地妃斗美
 奥野結実 風間隆宏
 坂本佳凜子
 神戸友美 朝倉みづき
 片平悠理亜メリッサ
 小野文徳

(ジュニア高学年)
 坂本真徳 関口瑠唯
 和田弘子 杉浦貴紀
 横山綺実

(ユース)
 篠岳瑠 浜地憲太郎
 坂本陸 鈴木太陽

○副委員長
 井出 駿悟
 新川 将吾

○委員
 篠 岳瑠
 浜地 憲太郎
 長竹 康介
 荒井 洋佑
 荒井 閑
 小田切 伸矢
 河西 亮佑
 園田 俊
 吉岡 愛菜
 上野 凌
 坂本真徳
 藤井 真凜
 稲田 健太郎
 小菅 怜能
 石田 宙
 富田 和佳子
 鈴木 美徳
 菅谷帆那
 立石隆真
 吉川こみち
 岸瑛心

第 5 号議案

令和 6 年 度 事 業 計 画 書

自：令和 6 年 4 月 1 日 至：令和 7 年 3 月 31 日

特定非営利活動法人
西浜サーフライフセービングクラブ

- ① 夏季海水浴場等における監視・救助活動事業（パトロール事業） **3,674,000 円**
1. 夏季監視救助活動（西浜海岸、東浜海岸、江ノ島岩屋その他）
 2. ライフガードテスト 4 月～・夏季ガード顔合わせ 6 月・夏季準備の実施 6 月・パトロール審査会参加 11 月
 3. 各種訓練（チーフ研修会 11 月～翌 6 月、症例検討会・勉強会 2 月 3 月、リクルート関連活動 3 月～、スキルアップ講習会・通年、シーズン直前シミュレーション 5 月）
- ② 水辺の各種スポーツイベントを安全面から支援し振興を図る事業（イベントパトロール事業） **1,433,000 円**
1. イベント等の監視救助活動……………KLA 神奈川選手権：三浦海岸(5 月)
サーフヒーローズ：関東各地(4 月 5 月 6 月)
オープンウォーター：大磯(6 月)
日本大学海実習支援(6 月)
東伊豆チャレンジ:伊豆(5 月)
JLA 南関東予選：三浦海岸(9 月)
JLA 全日本選手権：西浜(10 月)
 2. サーフビレッジ資器材整備・清掃
 3. IRB・PWC 練習会、国内大会参加、2024LWC にチーム派遣……………毎月開催
 4. シーバード西浜……………横浜ボートショー栈橋警備：横浜（3 月）
シーバード JET カレッジ:場所未定（12 月）
 5. 船舶免許取得の推進、IRB 普及に向けた競技会への参加
- ③ ライフセービング活動による水辺の安全、教育事業（ジュニアユース事業） **11,390,700 円**
1. 年間ジュニアユースプログラムの開催……………基本的に月 2 回
夏季短期プログラム
各種ジュニアライフセーバー教室の開催（1 日体験）
 2. ライフセービングプログラムの開催……………未就学児、知的障害者等を対象
 3. ジュニアユース保護者対象プログラム……………保護者会の開催，資格取得サポート等
 4. 各種大会、藤沢市協働事業

④ 海岸等に関する環境保全活動及び地元地域を繋げる事業（環境イベント事業） 764,000 円

1. ビーチクリーン・殿網清掃の開催……………毎月第2日曜日 計12開催
2. オーシャンクリーンの開催……………2回開催(4,11月)
3. 内部イベントの開催……………通常総会・春のクラブ会(4月)
夏クラブ会の開催(8月)
秋のクラブ会：西浜カップ(10月)
4. 外部イベントの開催……………西浜区町内会 地引網(9月)
新春餅つき大会「冬のクラブ会」山本公園(1月)

⑤ ライフセービングスポーツに関する事業（スポーツ推進事業） 3,097,500 円

1. ライフセービング競技会への参加
2. 練習会及び合宿の開催……………練習会(オーシャン、ビーチ、プール)(通年)
ライフガードテスト(4月～8月)
アクラブ朝練(通年)
3. クラブ員交流イベントの開催……………西浜合宿(2月or3月)
4. JLAハイパフォーマンスプログラム強化指定選手エントリー

⑥ ライフセービングの資格講習会及び安全指導に関する事業（育成事業） 843,000 円

1. JLA Academy 資格講習会開催……………ベニシク・BLS・更新・WS・サポーター
2. NISHIHAMA learning の開催……………クラブ員同士の学び合い場(勉強会)
BLS・Rescue・リペア Learning・ジュニア保護者対象・サポーター講習会

その他、管理部門（事務局など） 7,590,634 円

- ・ JLA・KLA 主催パトロール報告・総会への参加
- ・ JLA への役員・専門委員の派遣
- ・ 各種関連会議への参加
- ・ 地域イベントへの参加
- ・ クラブスポンサー獲得へ向けての渉外活動
- ・ クラブ内外へ向けての情報発信（HP・FB やインスタ等の各種 SNS パンフレット等）
- ・ 会員・会計・器材の管理
- ・ 理事会開催（月1回の定例会）
- ・ クラブハウス屋外ボードラック修繕

以 上

2024年度 パトロール委員会 活動内容

Power of Nishihama

～無事故達成の瞬間に向け力を結集しよう～

1. 2024年度「無事故」を最終目標に設定
→2023年度に発生した2件の事故から学びを必ず無事故に繋がめます。委員会一丸となってキャプテンをサポートし、チームの総合力向上をはかります。
2. 委員会内で想いを共有し組織の団結力向上
→各課内でのミーティングだけでなく、3ヶ月に1回全体ミーティングを行います。リアルでのコミュニケーションを重視し、極力対面で実施します。
3. 今後の西浜を担う人材の確保
→今後のクラブを構築していくユース、大学生、新社会人のリクルートを強化し、人材確保を目指します。
4. チーム全体のライフガードスキル向上
→外部講師なども活用し、症例検討会、勉強会、チーフ研修会、シミュレーションといった従来取り組んでいた内容を見直し、質と量にこだわりを持ち取り組みます。
5. パトロール環境の改善
→昨年の反省を活かし、タワーの増築や宿の改善を試み過酷なライフガード環境を改善し、パトロールに集中できるように、日本一の環境整備を目指します
6. 新規プロジェクト立ち上げ支援
→無事故に向けて必要な事業についてはプロジェクト単位で積極的に立ち上げを行います。
7. 他の委員会と協力し、人材の育成、クラブ運営
→年間を通して海に集まり、ライフセービングを楽しむことができるように、各委員会と協力し合います。
8. 地域に愛されるパトロール文化の醸成
→パトロールを通して自治体や組合と協力し、地域に求められるライフガード組織を目指します

<事業内容>

1. 夏季・片瀬西浜・東浜海岸におけるライフガード活動

場 所：片瀬東浜海水浴場、片瀬西浜・鵜沼海水浴場・江ノ島岩屋（海水浴場開設時）

参加者：クラブ員

➤ 内 容：

- ・ 海岸に訪れる老若男女、一人一人に安全で楽しい海水浴場を提供し、海浜での事故を出来る限り未然に防止する。
- ・ 藤沢市・海水浴場組合と連携を取り、より良い環境作りに努める。
- ・ 警察・消防・海上保安庁との相互理解を深め、パトロールの連携、災害時の協力体制を構築する。
- ・ 県下の LSC と連携を取り、神奈川県下の海水浴場の安全強化を図る。
- ・ 地域社会と相互に人材供給を行い災害時の協力体制を構築する。
- ・ 生と死を常に意識する状態の下で活動を共にすることで真の仲間（家族）を作る。

2. ライフガード活動実施に向けた準備と育成

- チーフ研修会 11～6月開催予定
- 症例検討会、勉強会 2月,3月開催予定
- 新歓 3月～開催予定
- シーズン直前シミュレーション 5月開催予定
- 顔合わせ 6月初旬で調整中
- 夏季準備 6月の週末で実施予定
- パトロール審査会 11月参加予定
- スキルアップ講習会 通年での不定期開催

<組織体制>

パトロール委員会内の人事配置（※理事、委員長、副委員長は各課の動向及び進捗状況を把握しておくため、課には入っていない）					
No	課名	課長名	内容	新メンバー	管轄
1	症例検討会課	課長 鈴木太陽、志賀海征	症例検討会を実施するためにミーティングや練習会を実施	北川、井上、相澤、原、橋本、河西、長谷、増岡、手島	坂本
2	事務課	課長 手島七海	夏の事務処理のための準備、実行	手島、酒井、井出、内堀、山本(聡)、桑名	上野
3	器材課	課長 園田俊	夏の資器材の管理、夏の片づけ及び準備支援、イベパとの資器材連絡	園田、金川、廣田、井上、村尾、岩井	坂本
4	パワークラフト課	課長 原伸輔	PWCの管理、練習会等の実施	原、高橋、金川+イベパメンバー	遠藤
5	勉強会課	課長 増岡みづき	クラブ員へのナレッジ提供	増岡、高橋、加藤、上野(真)、井上、鈴木(雷)	遠藤
6	サーフボード課	課長 間根山花子	サーフボードプロジェクトから引継、夏だけでなく通年を通じてクラブの象徴であるサーフボードの運用を担当	片岡、池田、間根山	遠藤
7	コミュニケーションサポート課	課長 橋本敦	社会人メンバーとの連絡・コミュニケーションサポート、イベントの企画	橋本、大野、志賀、田中、鈴木、大谷、小野	上野
8	委員会運営サポート課	課長 加藤拓馬	委員会運営のサポート	加藤、片岡、篠(郁)、河西	上野
9	海上保安庁連携課	課長 秋山直輝	海上保安庁関係情報の提供	秋山、篠原、稲葉、伊藤(健)	上野
10	SNS課	課長 内堀夏怜	活動内容の広報	内堀、北川、新川	上野
11	学生課	課長 北川健太郎	新歓・忘年会・各種イベントの企画・学生のとりまとめ	坂本、井上、北川、桑名、村尾、志賀、鈴木、鈴木(雷)、岩井	坂本
12	企画課	課長 上野凌	各課横断・クラブ単位での課題発見・解決、パトロールデータの分析	上野、原、小野、井出、桑名、黒須	上野

2024 年度 イベントパトロール委員会 活動計画

【活動要旨】

当委員会では定着と組織強化をキーワードに、次世代に繋がる組織作りと人材育成を目指します。また、各イベント単位で中心となるメンバーを育成し、継続的に西浜メンバーが主体でイベント運営を行う。さらにイベント運営マニュアルを構築し、活躍の幅を広げる。

2024 度も継続し取り組むテーマは以下の 3 つ

- A、 イベント運営ノウハウの蓄積と継承
- B、 地域スポーツイベントの定着と拡大
- C、 各委員会との連携強化、現場パトロール力の向上

◆は実施確定 ◇は予定のイベント

A. イベント運営ノウハウの蓄積と継承

- ・全日本選手権の独自運営のための組織向上
- ・各イベントのマニュアル構築
- ・イベント単位でのリーダー格人材の育成
- ・若手メンバーの参加率向上
- ・学年別、経験値別の到達度目標設定

<イベント予定> *日程は調整中

- ◆サーフヒローズ
- ◆KLA 神奈川県 LS 競技会 5/25. 26
- ◆JLA 全日本南関東予選 9/14~15
- ◆JLA 全日本選手権 10/12~14

B. 地域スポーツイベントの定着と拡大

- ・地域団体との関係の積極的深更、定着化
- ・他団体からの西浜 LS 活動の引き込み
- ・定期的収入の獲得
- ・社会人メンバーの活動場所の提供
- ・パトロール以外のライフガード力の向上

<イベント予定> *日程は調整中

- ◆大磯 OWS 6/15

C. 各委員会との連携強化、現場パトロール力の向上

- ・パワークラフトに対する知識/技術の向上(練習会の提供)
- ・パワークラフトステーションの定着(パトロール委員会との連携)
- ・該当分野での県内他クラブとの交流(合同訓練など)
- ・海上保安庁との関係強化
- ・船舶免許取得の推進
- ・シーバード西浜の運営力強化
- ・IRB 普及に向けた中期計画の推進(2024 国内大会優勝、2024LWC に派遣)

<イベント予定>

- ◆春のオーシャンクリーン 4月下旬
- ◆秋のオーシャンクリーン 11月下旬
- ◆IRB・PWC 定期練習 11月 - 3月

2024年度 ジュニア・ユース委員会 活動内容

【活動目標】

- ・ライフセービング教育を通じ、水辺の安全教育普及や青少年の健全な成長を促す。
- ・ジュニア・ユースメンバーが、卒業後も様々なライフセービング活動を継続的、自主的に行えるように、活動方法などの提供をしていく。
- ・様々な人にライフセービングを通して、海の楽しさを知ってもらう。
- ・ジュニア・ユースに関わる保護者のプログラムへのサポートやクラブへの理解、協力を深める。

1、ジュニア・ユースプログラムの開催

『自分の命を自分で守れるジュニア・ユースライフセーバーを育成する』

- ・小学生から高校3年生を対象にジュニア・ユースプログラムを毎月第2、4日曜日行う。
- ・合同練習を行うなどして、他クラブと交流を図り、日本のジュニア・ユースライフセービングを盛り上げていく。
- ・子ども会、企業などを対象にジュニア・ユースライフセーバー教室1日体験プログラムを行う。学校訪問も含めて、団体ごとに希望の日程、内容に合わせて行う。

2、地域に根差した教育活動の開催

『藤沢市内の子どもたちに海の楽しさを伝え、安全教育を行う。』

- ・学校訪問を行い、地域に根差した水辺の安全教育を展開する。また、心の教育や環境への意識を高める指導を行う。(藤沢市協働事業)
- ・日程：6～9月 (予定)

3、様々な人に海の楽しさを知ってもらう

『知的障害がある子どもや幼児等を対象にライフセービングプログラムを行い、海の楽しさやライフセービング活動を知ってもらう』

- ・障害の有無に関わらず誰もが楽しむことができ、活動することができるライフセービング活動を行う。幼い時から海辺で安全に楽しく活動できる機会を作る。
- ・一般小学生や海水浴客の子どもたちを対象とした、半日ライフセービング体験プログラムを開催する。
- ・日程：8月～3月 (予定)

4、保護者の方も関わりやすいクラブ作り

『保護者の方々が、積極的にライフセービング活動に携わることができる機会を作る』

- ・保護者の方々にクラブの活動を理解していただき、主体的にジュニア・ユースプログラムのサポートに参加してもらえよう、保護者対象のサポーター講習会を開催する。また、子どもが卒業した後も、保護者自らが西浜のクラブ会員として組織に携わってもらえよう情報提供をする。

2024 年度 環境イベント委員会 活動計画

1. 活動趣旨

「みんなで盛り上げるクリーンな街づくり」

環境イベント委員会では、西浜クラブメンバー、地域のみなさま、地元を中心とした協力企業のみなさまなどと共に、海岸づくりだけでなく、海を中心としたクリーンな街づくりを推進して参ります。

2. 活動目的

環境保全に関する事業・催事に関する事業

3. 活動内容

① 定期ビーチクリーン

毎月第 2 日曜日 10:00~11:00 に、我々のホームビーチ鶴沼海岸にてビーチクリーンを拾います。地域の皆様や関連・協力企業のみなさまにご参加いただき、清掃活動及び環境美化啓発を行います。日程が近くなりましたら、適宜クラブ公式 Instagram で発信いたします。

② 不定期オーシャンクリーン

年に 2 回、クラブ員を中心に江ノ島へパドリングを実施し、ゴミの吹き溜まりになりやすい江ノ島の岩場の清掃を行います。一般市民がアプローチできない箇所にライフセーバーが率先して、ビーチには回収されない大きなゴミを収集します。

③ 内部イベント・地域共創型イベント

クラブ内運動会「西浜カップ」、クラブ員同士の交流会「クラブ会」、年末のとの網掃除「クラブハウス清掃」、年始に地域町内会との餅つき大会など、クリーンな街づくりを実現すべく、様々な催事を執り行います。

④ その他

オリジナルグッズをはじめとした物販事業、SNS を通じた発信活動など

4. 年間スケジュール

次ページを参照

実施	時間	場所	概要	目的
イベント事業				
4月14日	10:00~11:00	鶴沼海岸	ビーチクリーン	清掃活動及び環境美化啓発
5月6日	8:30~11:30	江ノ島	ビーチクリーン&オーシャンクリーン (春のクラブ会)	クラブメンバー同士の交流の活性化
6月9日	10:00~11:00	鶴沼海岸	ビーチクリーン	清掃活動及び環境美化啓発
7月14日	9:00~11:00	鶴沼海岸	ビーチクリーン (企業コラボ)	地域ブランド共同での水辺の安全訴求
8月11日	10:00~11:00	鶴沼海岸	ビーチクリーン	清掃活動及び環境美化啓発
9月8日	10:00~11:00	鶴沼海岸	ビーチクリーン (ボランティア週間)	清掃活動及び環境美化啓発
10月20日	8:30~11:00	鶴沼海岸	西浜カップ&ビーチクリーン	クラブメンバー同士の交流の活性化、清掃活動
11月10日	8:30~11:30	江ノ島	ビーチクリーン&オーシャンクリーン	環境美化啓発
12月15日	10:00~12:00	鶴沼海岸	ビーチクリーン&年末大掃除	清掃活動及び環境美化啓発
1月19日	9:00~11:00	鶴沼海岸	ビーチクリーン&冬のクラブ会	クラブメンバー同士の交流の活性化
2月9日	10:00~11:00	鶴沼海岸	ビーチクリーン	清掃活動及び環境美化啓発
3月9日	10:00~11:00	鶴沼海岸	ビーチクリーン	清掃活動及び環境美化啓発
物販事業				
6月28日			西浜Shops (名称仮) の開設	オリジナル商品の販売

2024 年度 スポーツ推進事業計画

2024 年度 目標

- ・クラブ員の競技力のボトムアップを図り、全日本総合優勝を目指す。また、全日本シリーズ年間優勝を目指す。
- ・ライフセービングスポーツを選手としてだけでなく、審判員や、生涯スポーツとしてクラブ員が楽しめる環境づくりをする。
- ・今年度行われる LWC ライフセービング選手権大会にクラブとして、世代を問わず多くのクラブ員が参加できるような環境づくりをする。

1. 競技会への選手派遣

○JLA 主催

- ・全日本プール競技選手権 ・全日本種目別選手権 ・全日本選手権 ・全日本 SERC ・全日本 IRB 選手権
- ・マスターズ競技会(ビーチ) ・マスターズ競技会 (サーフ) ・マスターズ競技会 (プール)
- ・ジャパンオープン (プール)

○KLF 主催

- ・神奈川県選手権 / 神奈川県プール競技選手権

○その他

- ・サーフヒーローズ開催場所 未定
- ・プール記録会等 ・LWC ライフセービング選手権大会

2. 練習会の開催

○練習会

- ・定期練習 (基本毎週日曜日) ボード、スイム、サーフスキー、ビーチでのラン、プールでのスイム、SERC トレーニングなどを企画します。
- ・マスターズ練習会(不定期実施) ライフセービングを始めたばかりの初心者や、社会人からライフセービングを始めた方、ブランクがある方を対象に生涯スポーツとしてライフセービングを楽しみ、ライフセーバーに必要な体力や技術の向上、LWC の出場を目指します。
- ・アクラブ朝練 (通年・月・水・金 am5:30~) クラブ員が日常的にトレーニングを行えるように環境を整えていきます。

○ライフガードテスト

4月から8月月に1回程度 ラン・スイム・ボードとライフセーバーに必要な体力・技術をテストします。パトロール委員・育成委員とも連携して取り組み、レスキュースキルの向上も目指します。

3. 西浜合宿の開催

2022年2月 or 3月開催予定

学生クラブ員が主体となり、体力・技術・知識の向上を目的に行い、競技力向上だけでなくパトロールに繋がりを取り入れた合宿を開催します。

2024年度 育成委員会 活動内容

人材育成の要となりライフセーバー同士が高めあえる組織を目指す。
～ライフセーバー共育～

1. 方針

- すべての講習会において感染防止対策を徹底していく。
- 【NISHIHAMA Learning の開催】(クラブ員の学び合いの場の提供)
- 年間を通してライフセービングの知識、技術、西浜の精神など全てのクラブ員が共に学び合える場を設ける。
- 若いメンバーがインストラクションの楽しさを知り、インストラクター取得に繋げる(スタッフ参加の可視化)
- インストラクターがクラブ員に向けて指導する機会を作り学びの場を増やす。
- 【JLA Academy の開催】(有資格者の養成)
- JLA Academy 講習会を開催し、習得度が高いライフセーバー(有資格者)を養成する。
- アドバンスライフセーバーのカリキュラムを西浜独自で作成し、パトロールに特化した講習会にする。また誰が講習しても内容が変わりえないような体制にする。アドバンスを指導できるインストラクターを育成するためインストラクター研修会も実施する。講習会運営をできる者を増やすために研修会も実施検討中。
- 【新規指導員の育成及び指導員の活動環境の創造】
- 今後のライフセーバー数確保のためにもコアに活動できる指導員育成も注力しなくてはならない。学生のうちに指導員になれる体制をクラブとしても構築していきたい。

2. 活動内容

ア NISHIHAMA Learning

BLS Learning 主にビーチクリーン後や練習後の時間を利用[BLS指導員以上、委員長が認めた者]

※目標：最後に参加者に向けてデモンストレーションを披露し、興味を持ってくれた方に個別指導できるような流れを作る。

Rescue Learning バッジテスト時やレスキュー練(パトロール委員会、スポーツ推進委員会共催) [サーフ指導員、委員長が認めた者]

保護者対象 Learning : 5月・9月(ジュニアユース委員会と共催)

リペア Learning : 12月

その他：サポーター講習会(アクラブ等2回開催を目標)

イ JLA Academy

【WS講習会、BLS講習会】5月中に予定

【ベーシックサーフライフセーバー講習会】日時：1回目7月、2回目8月

【アドバンスサーフライフセーバー講習会】11月開催予定

【IRBクルー、ドライバー講習会】2月開催予定

ウ 指導員育成制度

指導員養成講習会はかなりの日数を拘束され社会人で取得するのが困難な場合が多い。学生のうちに取得希望のあるメンバーには自己推薦文、面談等をして指導員としてのビジョンを確認し、クラブサポートを行い指導員養成を後押ししていきたい。

3. 西浜 SLSC 所属 JLA 指導員

JLA 指導員：植木将人、荒井洋佑、飯塚剛志、石川修平、泉田昌美、中本恵子、入谷拓哉、江泉嘉文、遠藤大哉、風間隆宏、神戸友美、北矢宗志、坂入綾菜、坂本陸、篠岳瑠、園田俊、高木溪太、浜地憲太郎、原伸輔、間根山花子、深山元良、上野凌、坂本真徳、勝部興、山崎敦、鈴木慎一

2024年度 事務局 活動内容

【活動目標】：持続可能なクラブ運営の構築

- クラブ員の満足度向上・対外アピール
- 安心安全な宿舎の確保、学生支援
- 会員管理の整備
- 事務局メンバー育成、他クラブとの連携・協力

1、クラブ員の満足度向上・対外アピール

『クラブ員向けの情報発信、活動環境の改善を目指す』

- ・ 情報発信の充実：各種案内の送付、SNS・メーリングリストの活用、クラブ員向けHPの充実
- ・ 器材管理の充実：器材の補修・貸出・グッズ管理販売
- ・ 保険の加入
- ・ 総会・理事会：準備・運営の効率化
- ・ ボランティアポイントの拡充

『クラブのステータスアップを目指す』

- ・ 渉外の充実：契約関係・外部からの依頼対応の効率化
- ・ 外部向け広報の充実：HP及びFBの管理、パンフレットの作成、総会資料作成、動画広報
- ・ 地元スポンサーとの連携

2、安心安全な宿舎の確保、学生支援

- ・ 女性宿舎の維持管理、避難器具の設置
- ・ 夏期学生食事代及び交通費支援
- ・ 施設管理、学生支援のための寄付制度継続など

3、会員管理の整備

- ・ 名簿管理、会員カード・会員パスポート
- ・ 会員・寄付者への情報提供
- ・ JLA-IDの連絡フォローなど

4、事務局メンバー育成、他クラブとの連携・協力

- ・ 事務局メンバーの積極的育成、複数人での作業を目指す
- ・ 他クラブの事務局との連携・協力など

令和6年度(2024年度)活動予算書

令和6年4月1日から令和7年3月31日

特定非営利活動法人西浜サーフライフセービングクラブ

1.特定非営利活動事業に係る事業会計

科 目		令和6年度			備 考
		令和5年度	令和6年度		
		予算案	予算案	前年予算比	
1	収益の部				
1	会費収益	1,703,000	1,689,000	99.2%	
	ア.入会金	0	0		平成29年度より入会金0円
	イ.会費(正会員)	385,000	385,000		55名
	ウ.会費(一般会員)	1,200,000	1,200,000		240名
	エ.会費(高校生会員)	118,000	104,000		ユースプログラム未登録枠 52名
2	事業収益	30,245,583	29,613,183	97.9%	
	①夏季海水浴場等における監視・救助活動事業(バトロール事業)	9,198,183	9,042,183	98.3%	バトロール委員会
	ア.夏季海水浴場における監視・救助活動・マナーアップ事業	7,756,333	7,756,333	100.0%	2021年度より課税事業者を見越して消費税分増額となる
	イ.東浜監視船業務	1,015,850	1,015,850	100.0%	
	ウ.西浜バトロールユニフォーム販売	426,000	270,000	63.4%	ラッシュ・パンツ×各10着 スウィングトップ×10着
	②水辺の各種スポーツイベントを安全面から支援し振興を図る事業(イベントバトロール事業)	2,044,000	1,444,000	70.6%	
	ア.追浜トライアスロン	350,000	0	0.0%	
	イ.全日本LS選手権	430,000	430,000	100.0%	東日本予選含む
	ウ.湘南オープンウォータースイム	54,000	54,000	100.0%	
	エ.KLA、大磯OWS、南関東予選	700,000	700,000	100.0%	5月KLA33.5万、5月東伊豆3万、9月南関東33.5万
	オ.ビレッジ管理	120,000	120,000	100.0%	
	カ.PWC練習会助成金(シーバード)	100,000	50,000	50.0%	シーバード協賛金(笑顔プロジェクト)
	キ.横浜ボートショー	200,000	0	0.0%	
	ク.サーフヒーローズ	90,000	90,000		IRBレンタル3回
	③ライフセービング活動による水辺の安全、教育事業(ジュニアユース事業)	15,557,400	15,331,000	98.5%	ジュニアユース委員会
	ア.年間ジュニアプログラムの開催事業	1,955,000	1,865,000	95.4%	
	イ.年間ユースプログラムの開催事業	1,644,400	1,558,000	94.7%	
	ウ.ジュニア版西浜カップ	300,000	0		IRITANI CUP参加費なし
	エ.ジュニア合宿	250,000	500,000	200.0%	2.5万円×20名
	オ.ユース合宿	900,000	900,000	100.0%	
	カ.ジュニア特別活動	6,120,000	6,120,000	100.0%	
	キ.ユース特別活動	3,900,000	3,900,000	100.0%	
	ク.知的障害者・幼児プログラム・地域クラブ交流レース	70,000	70,000	100.0%	
	ケ.藤沢市協働事業(ジュニアLS教室)	418,000	418,000	100.0%	
	④海岸等に関する環境保全活動及び地元地域を繋げる事業(環境イベント事業)	230,000	80,000	34.8%	環境イベント委員会
	ア.イベント参加費	180,000	50,000	27.8%	餅つき参加費
	イ.イベント単独寄付金	50,000	30,000	60.0%	餅つき町内会寄付金
	⑤ライフセービングスポーツに関する事業(スポーツ推進事業)	2,150,000	2,650,000		スポーツ推進委員会
	ア.スキー・ボードラック代金、グッズ販売	150,000	250,000		ボード・スキーラック年間10,000円×15人
	イ.アクラブ朝練	2,000,000	2,400,000		月5,000円×50人 12か月分
	⑥ライフセービングの資格講習会及び安全指導に関する事業(育成事業)	1,066,000	1,066,000	100.0%	育成委員会
	ア.更新講習会	225,000	225,000	100.0%	2月、3月に3回実施予定
	イ.BLS講習会	55,000	55,000	100.0%	4月実施予定
	ウ.IRB講習会 クルー、ドライバー	160,000	160,000		3月実施予定
	エ.サポーター講習会	0	0		ジュニア保護者等、learning 3回実施予定
	オ.WS講習会	26,000	26,000	100.0%	4月実施予定
	カ.BASIC講習会	480,000	480,000	100.0%	7月、8月に2回実施予定
	キ.リーダー講習会	0	0		未開催予定
	ク.アドバンス講習会	120,000	120,000		11月実施予定
	ケ.C級審判講習会	0	0		未開催予定
3	協賛金	0	0		
4	助成金	0	0		
5	寄附金	312,000	312,000	100.0%	
7	雑収益	100,000	100,000	100.0%	利息、グッズ代、ラック使用料など
	ア.グッズ代	100,000	100,000	100.0%	ネクタイ販売など
	イ.事務局使用料	0	0		シャワー代、宿代など
	ウ.その他	0	0		
8	単年度収益合計	32,360,583	31,714,183	98.0%	
9	前年度繰越金	21,825,192	23,021,299	105.5%	
10	総収益合計	54,185,775	54,735,482	101.0%	

II	費用の部	令和5年度	令和6年度		
		予算案	予算案	前年予算比	
1	事業費	21,803,700	21,202,200		97.2%
	①夏季海水浴場等における監視・救助活動事業(バトロール事業)	3,290,000	3,674,000		111.7%
	ア.夏季海水浴場における監視・救助活動事業費	1,000,000	1,000,000		100.0%
	イ.打合せ会議費(バトロール・症例検討会24回、スキルアップ等16回)	440,000	464,000		105.5%
	ウ.バトロール関係器材(チューブ、双眼鏡、その他消耗品等、ラッシュ在庫)	670,000	220,000		32.8%
	エ.夏期2か月宿費、清掃費	240,000	900,000		375.0%
	オ.夏の納会、忘年会費、MIA賞	270,000	270,000		100.0%
	カ.講師謝金	170,000	170,000		100.0%
	キ.PWC、バギー維持費	450,000	600,000		133.3%
	ク.タワー購入積立	50,000	50,000		100.0%
	②水辺の各種スポーツイベントを安全面から支援し振興を図る事業(イベントバトロール事業)	2,056,000	1,433,000		69.7%
	ア.追浜トライアスロン	273,000	0		0.0%
	イ.全日本LS選手権	308,000	308,000		100.0%
	ウ.PWC維持費用(シーバード登録含む)	350,000	200,000		57.1%
	エ.湘南オープンウォータースイム	27,000	12,000		44.4%
	オ.横浜ボートショー	135,000	0		0.0%
	カ.KLA、大磯OWS PWCレンタル費、南関東予選	408,000	408,000		100.0%
	キ.ビルド管理	100,000	100,000		100.0%
	ク.打ち合わせ会議費、練習会等交通費用、IRB競技会遠征費	315,000	295,000		93.7%
	ケ.技術訓練費用(燃料等)	40,000	0		0.0%
	コ.LWC2024への積立	100,000	110,000		110.0%
	③ライフセービング活動による水辺の安全、教育事業(ジュニアユース事業)	11,359,200	11,390,700		100.3%
	ア.年間ジュニアプログラムの開催事業	2,342,100	2,134,600		91.1%
	イ.年間ユースプログラムの開催事業	1,798,800	1,898,800		105.6%
	ウ.ジュニア版西浜カップ	257,500	247,500		96.1%
	エ.ジュニア合宿	244,800	393,800		160.9%
	オ.ユース合宿	869,000	869,000		100.0%
	カ.ジュニア特別活動	846,000	846,000		100.0%
	キ.ユース特別活動	4,668,000	4,668,000		100.0%
	ク.知的障害者・幼児プログラム	65,000	65,000		100.0%
	ケ.藤沢市協働事業(ジュニアLS教室)	268,000	268,000		100.0%
	④海岸等に関する環境保全活動及び地元地域を繋げる事業(環境イベント事業)	790,000	764,000		96.7%
	ア.イベント事業費(飲食代、食材、消耗品費)	290,000	150,000		51.7%
	イ.クラブイベント交通費、活動謝礼、会議費	150,000	174,000		116.0%
	ウ.グッズ作成費	0	300,000		
	エ.ビーチ・オーシャンクリーン用資器材、その他	350,000	140,000		40.0%
	⑤ライフセービングスポーツに関する事業(スポーツ推進事業)	3,520,500	3,097,500		88.0%
	ア.競技会へのスタッフ引率者交通費、器材運搬費	797,000	864,000		108.4%
	イ.西浜合宿経費	13,500	13,500		100.0%
	ウ.西浜カップ	200,000	0		0.0%
	エ.マスターズ練習会、全体練習会	70,000	0		0.0%
	オ.チーム種目エントリー費	230,000	300,000		130.4%
	カ.打ち合わせ会議費(6回)、消耗品費、雑費	410,000	120,000		29.3%
	キ.アクラブ朝練利用料支払い	1,440,000	1,440,000		100.0%
	ク.アクラブ朝練責任者手当	360,000	360,000		100.0%
	⑥ライフセービングの資格講習会及び安全指導に関する事業(育成事業)	788,000	843,000		107.0%
	ア.更新講習会	42,000	42,000		100.0%
	イ.BLS講習会	27,600	27,600		100.0%
	ウ.IRB講習会	30,400	30,400		100.0%
	エ.サポーター講習会	6,000	6,000		100.0%
	オ.WS講習会	18,600	18,600		100.0%
	カ.BASIC講習会	316,200	316,200		100.0%
	キ.アドバンス講習会	147,200	147,200		100.0%
	ク.打ち合わせ会議費、県外講習会補助金	145,000	145,000		100.0%
	ケ.消耗品購入、スタッフグッズ、予備費	5,000	5,000		100.0%
	コ.指導員資格補助制度	50,000	105,000		210.0%
2	管理費	6,973,600	7,590,634		108.8%
	管理費	6,573,600	6,390,634		97.2%
	ア.物品購入費	100,000	100,000		100.0%
	イ.事務局人件費	600,000	600,000		100.0%
	ウ.福利厚生費	522,241	482,627		92.4%
	エ.広告宣伝費	286,000	50,000		17.5%
	オ.旅費交通費	52,000	85,700		164.8%
	カ.通信費	37,341	129,184		346.0%
	キ.水道光熱費	813,976	1,261,656		155.0%
	ク.消耗品費	100,000	50,000		50.0%
	ケ.修繕費	81,300	50,000		61.5%
	コ.保険料	64,935	70,549		108.6%
	サ.租税公課	1,013,800	494,700		48.8%
	シ.交際接待費	0	44,174		
	ス.支払家賃	720,000	720,000		100.0%
	セ.減価償却費	1,129,261	689,864		61.1%
	ソ.賃借料	100,000	100,000		100.0%
	タ.顧問報酬	385,000	418,000		108.6%
	チ.事務費	95,970	173,433		180.7%
	ツ.登録料	60,000	60,000		100.0%
	テ.雑費	411,776	810,747		196.9%
	その他	400,000	1,200,000		300.0%
	ア.グッズ代	200,000	200,000		100.0%
	イ.クラブハウス屋外ボードラック積立金	0	800,000		
	ウ.その他(予備費)	200,000	200,000		100.0%
	単年度費用合計	29,127,300	28,992,834		99.5%
3	特別予算	350,000	200,000		
	サーフポート積立金	0	0		
	周年記念事業積立金	200,000	50,000		
	2024・2028ワールドマスターズゲームス 海外大会遠征 積立金(特別P)	150,000	150,000		
	特別予算費用合計	350,000	200,000		
4	来年度繰越金	25,058,475	25,742,648		
	総費用合計	54,185,775	54,735,482		
	単年度収支差額	3,233,283	2,721,349		

特定非営利活動法人 西浜サーフライフセービングクラブ 通常総会議事録

- 1 日時 令和6年5月12日 11時から12時まで
- 2 場所 サーフビレッジ多目的ホール 藤沢市鵠沼海岸一丁目17番3号
- 3 正会員総数 54名
- 4 出席者の数 37名（出席者14名、表決委任者23名）
- 5 議事録署名人 和田桂子、早川慶太郎

6 議案

- 第1号議案 令和5年度事業報告 承認に関する件
- 第2号議案 令和5年度会計報告 承認に関する件
- 第3号議案 令和5年度監査報告に関する件
- 第4号議案 役員等変更に関する件
- 第5号議案 令和6年度事業計画 承認に関する件
- 第6号議案 令和6年度予算書 承認に関する件

7 議事の経過の概要及び議決の結果

- 第1号議案 令和5年度事業報告 承認に関する件
令和5年度事業報告を諮ったところ、満場異議なく承認された。
- 第2号議案 令和5年度会計報告 承認に関する件
令和5年度会計報告を諮ったところ、満場異議なく承認された。
- 第3号議案 令和5年度監査報告に関する件
令和5年度監査報告を諮ったところ、満場異議なく承認された。
- 第4号議案 役員等変更に関する件
役員等変更に関する案を諮ったところ、満場異議なく承認された。
- 第5号議案 令和6年度事業計画 承認に関する件
令和6年度事業計画を諮ったところ、満場異議なく承認された。
- 第6号議案 令和6年度予算書 承認に関する件
令和6年度予算書を諮ったところ、満場異議なく承認された。

令和6年5月12日

特定非営利活動法人 西浜サーフライフセービングクラブ 通常総会において

議長 篠 岳瑠



議事録署名人 和田 桂子



議事録署名人 早川慶太郎



2024 年 5 月 12 日

2023 年度第 22 回通常総会結果報告

特定非営利活動法人
西浜サーフライフセービングクラブ
理事長 篠 岳瑠

拝啓 初夏の頃、クラブ会員の皆様におかれましては、ますますご盛栄のこととお喜び申し上げます。平素より当クラブ事業に格別のご理解とお力添えをいただき、厚く御礼を申し上げます。

5 月 12 日(日)にサーフビレッジ多目的ホールにて通常総会を開催いたしました。正会員 54 名(2024 年 3 月 31 日現在)のうち、出席者 14 名、委任状 23 名 計 37 名となり、定款第 27 条、定足数の条件である正会員半数を満たしましたので成立となりました。クラブ員なら誰でも視聴できるよう WEB 配信も行い、一般会員の参加は 3 名ありました。その場におきまして、第 1 号から第 6 号議案に承認をいただきました。また、令和 5 年度会計について適正かつ公正に処理されているとの監事報告がございましたので、ここに報告をいたします。

敬具

記

本通常総会における主な報告内容は以下のとおりです。

1、事業報告、2023 年度はコロナが第 5 類に分類変更され、パトロール事業においてはコロナ以前と同様の夏季海水浴場の開設の運びとなり、湘南の海は例年通りの賑わいを取り戻しました。監視体制としては、コロナ期間を経て確立した事業モデル(Swim between flags)を継承し、マリンスポーツ自粛エリアにライフセーバーを配置して活動を行いました。更に秋口には 60 周年の記念行事を執り行い、50 周年からの 10 年の歩みを多くのクラブ員、OB とも共有する事ができました。

2、会計報告、2023 年度は約 119 万円の正味財産の増加での決算となりました。2024 年度の単年度予算案は約 272 万円の黒字で承認されました。今年度より消費税の納付が予定されています。100 年続くクラブを目指し、人材育成への投資を最重要課題として、伝統を継承しながらも未来を切り開く人材を輩出するライフセービングクラブを目指して活動をして参ります。

以上



「サーフビレッジでの通常総会の様子」

理事退任挨拶 長谷雄大

環境イベント委員会の理事をしておりました長谷と申します。私は大学1年生の時に西浜に所属し、今年度で12年目になります。先輩方に比べると、まだまだ未熟者ですが、これまで様々な経験をさせていただきました。

環境イベント委員会の理事としては、私が西浜に入ってから三浦秀樹さん、高木溪太さん、伊藤光宏さんに続いて就任いたしました。これまでに多くの貴重な経験を積ませていただきました。

大学時代には、クラブ員と共に雪山に行ってスキーを楽しんだり、4年生の追いコンを開催したりと、多くのイベントを実施してまいりました。特に大学生の門出を祝うイベントは非常に楽しいものでした。ライフセービングは誰でもできる人のためになる活動ですが、その活動に専念しすぎると楽しさを見失うこともあります。理事やクラブ運営をしていると悩んだり、困難に直面することもあります。クラブ員の皆さんが楽しく活動を続けられるように心がけてまいりました。

今回、私が理事を任された理由の一つに、後輩に西浜の魅力を伝えたいという思いがありました。その中で、新井大介さんが現れ、環境イベント委員会の活動について意見を出してくれました。新井大介さんの活躍は誰もが認めるものであり、今後も環境イベント委員会の活動が変わりつつある中で、西浜の存在を社会にアピールしてくれると信じています。現役だけでなく、先輩方へのフィードバックも忘れずに行っていたきたいと思います。

60周年行事を通じて感じたことは、先輩方のエネルギーが現役の我々を凌駕しているということです。今後も先輩方にはご指導いただきたいと思っております。

最後になりますが、2024年5月の通常総会をもって西浜担当理事を退任させていただきます。今まで本当にありがとうございました。



理事就任挨拶 新井大介

この度、環境イベント委員会の新任理事となりました、新井大介と申します。環境イベント委員会との関わりとしては、前任の長谷雄大さんからご指名いただき、委員長として一昨年から務めさせて頂きました。

環境イベントは、環境美化を中心とした地域との関わりをコアにしたイベントを作っております。スポンサー企業や OBOG も含めた連携をさらに深めていき、西浜の活動幅を拡大して参りたいと思います。引き続き、よろしくお願いします。



環境イベント委員会
新任理事 新井大介

Lifesaver of the year NISHIHAMA 2023 ノミネート

- ・遠藤 勝久 (えんどう かつひさ)
- ・パトロール委員長として委員会運営のみならず、パトロールに最多日数参加し、後進の育成に務めた。夏後、仕事を変え群馬県高崎市での配属となったが、変わらず委員会運営に務めておりメンバーからの信頼も厚い。今後のさらなる活躍への期待もこめて推薦する。

オフサイヤー受賞

パトロール委員会



- ・石井 誠 (いしい まこと)
- ・委員会の活動への献身的に参加し、シーバード西浜の中心的な役割の他、IRBチームの若手の活動を牽引してきた。そして誰よりライフセービングを楽しんでる姿は同世代の模範になっている。

イベントパトロール委員会



- ・和田 弘子 (わだ ひろこ)
- ・自身の子どもがジュニアユースを卒業後から、10年以上会計担当を務める。
- ・子どもたちがお世話になった恩返しという気持ちで、仕事の傍ら、100人近くのジュニアユース会員管理、多様化する活動の謝礼の入力、小口の管理、また、保護者クラブ員登録を事務局との確認作業など、多岐に渡る。
- ・現場になかなか来れないけれど、自分のできることで活動に参加くれる、縁の下の力持ちがいてできる活動ということを体現してくれていることを理由にノミネートする。

ジュニアユース委員会



- ・内堀 夏怜 (うちぼり かれん)
- ・特に7月のBILLABONG、11月のNAMIMATIなどコラボイベントの運営の中心として動いてくれた。
- ・事前のミーティングでも、積極的に意見を出してくれ、スムーズな運営に繋がられた。

環境イベント



- ・新川 将吾 (にっかわ しょうご)
- ・令和5年度よりスポーツ推進委員会に加入。オーシャン競技、プール競技、SERCとすべての競技会において入賞する実績をあげている。委員会に加入後は、練習会や合宿においてメニュー策定、運営はもちろん、学生を中心とした若手メンバーへの指導をする体制を構築し、クラブ全体の技術力向上に大きく貢献した。何よりも、ほぼ毎日トレーニングを欠かさないその姿勢はライフセーバーの鏡であり、周りにも良い影響を与えていることからオブザイヤーとしてノミネートする。

スポーツ推進委員会



- ・坂本 真徳 (さかもと まさとく)
- ・3年前にBLS指導員を取得してから積極的に指導員として講習会に参加し多くのライフセーバーの資格発行に携わってきた。またサポーター講習会も企画から当日まで携わり、西浜指導員の活躍の道を開拓してきたためしてきたため推薦する。民間プール企業のBLS指導も堂々とこなした実績がある。今までは他委員会からノミネートされていたが今年は育成委員会からノミネートして受賞して欲しい。youthから社会人ライフセーバーとして活躍するメンバーの道しるべになってほしい。

育成委員会



- ・新井 大介 (あらい だいすけ)
- ・西浜ホームページリニューアルに奮闘。他のSNS媒体含めて、活動報告が大幅に刷新された。NPO法人で関係機関も多くある当クラブにおいて、情報発信は活動の肝となる。この先10年の事業展開にも影響すると捉え、事務局からノミネートさせていただきます。

事務局



理事長賞 受賞

・【ジュニア】松野 奏芽（まつの かなめ）

- ・小学5年生
- ・自分自身と向き合い、自分の課題を克服しようと努力し、それを実現した姿が素晴らしかった。
- ・スイムに苦手意識があり、ライフセービングを始めた当初は、海でのスイムは足の届く範囲でしか泳げず、大会では途中リタイアすることもしばしば。それでも彼女は逃げずに自分と向き合い、努力を重ねてきたことで、今年度の全日本大会(サーフ)では、初めてサーフレース完走を成し遂げることができた。
- ・自分と向き合い、ひたむきに努力を重ねる姿勢を評価し、オブザイヤーとする。

ジュニアオブザイヤー



・【ユース】太田 凱（おおた がい）

- ・高校3年生
- ・ユースチームキャプテンとして、素晴らしいリーダーシップを発揮してくれた。
- ・自分のことよりも、チームのことを考え、誰よりも率先して行動し、気づけば彼の後ろにはたくさんの仲間たちがいた。
- ・仲間、インストラクターからの彼への信頼は厚く、仲間のために、チームのために個々ができることがあるということを、彼が体現しメンバーに伝えてくれた。
- ・後輩育成にも率先して取り組み、彼が背中で見せてくれたもの、形として残してくれたバトンは、しっかりと後輩たちに託された。

ユースオブザイヤー



2023年度に寄付をいただいた皆様

昨年度、西浜SLSCに寄付をいただいた皆様にクラブ員一同で感謝の意を表したく、お名前を掲載させていただきます。

複数口の寄付をいただいた方

岩田 英高 様	三浦 恵美 様	石田 秀樹 様
伊東 秀崇 様	小野 正文 様	多賀 秀朗 様
上野 義洋 様	風間 隆宏 様	田澤 俊樹 様
臼井 茂 様	志賀 孝一 様	田畑 梨紗 様
梅本 裕子 様	篠原 航 様	

寄付をいただいた方

相澤 重男 様	菅野 靖 様	橋本 淳太郎 様
相澤 庄太 様	岸 瑛心 様	服部 洋平 様
相澤 千春 様	北矢 宗志 様	花岡 香那 様
荒井 閑 様	後関 裕輔 様	浜地 憲太郎 様
荒井 洋佑 様	齋藤 千恵 様	早川 慶太郎 様
池戸 智美 様	坂本 千佳子 様	Young ho Boo 様
石井 尚之 様	坂本 靖 様	平藤 昌寛 様
石川 修平 様	佐藤 美智代 様	堀口 敬洋 様
泉田 昌美 様	澤田 喜生 様	本郷 多久也 様
伊藤 健太郎 様	志賀 海征 様	松岡 鈴奈 様
稲葉 博久 様	篠 岳瑠 様	松田 祐二 様
井原 洋平 様	篠原 正貴 様	松野 潤 様
今井 柚歩 様	城間 盛隆 様	松山 ミッシェル 実香 様
今井 隆二 様	須藤 凧 様	丸塚 浩晃 様
入谷 拓哉 様	須本 晃 様	三浦 秀樹 様
植木 将人 様	高木 溪太 様	見角 麻理子 様
上野 凌 様	高橋 かのん 様	溝上 晴斗 様
浦田 樹里 様	高橋 尚吾 様	宮野 実 様
易 礼美 様	高橋 愛海 様	深山 元良 様
大谷 健将 様	武田 昭仁 様	村川 新 様
小川 登 様	田勢 美貴 様	村山 貴司 様
小倉 浩満 様	田中 悟 様	八島 一郎 様
小澤 知史 様	田中 裕史 様	山切 敏郎 様
小田 丈勸 様	天川 仁 様	山崎 卓己 様
小田切 伸矢 様	豊間根 真一 様	山崎 洋 様
片平 悠理亜 ミッサ 様	中島 章 様	ラム 里子 様
上條 胤臣 様	西澤 加奈子 様	和田 桂子 様
河西 亮佑 様	萩原 隆次郎 様	

昨年度の寄付使用実績

2023年度は97名の皆様より1,065,000円の寄付をいただきました。そのご厚志の使用実績としまして、

- ・夏パトロール学生食事補助 237,499円（外部レストランでの食事代、納会参加費、入浴代に使用しました。）
 - ・サーフボード新艇の積立金 0円（2023年度で廃船させていただきます。）
 - ・クラブハウス維持管理 1,699,000円（屋内シャワー室換気設備増設499,000、屋内外温水シャワー・クラブハウス光熱費1,200,000）
- 合計1,936,499円の一部として使用しました。

寄付制度の目的

①夏のパトロールにおける学生食事補助 等

7月末より学生が泊まり込む際の、食事代、入浴代に使っています。



②クラブハウスの維持管理

2023年度、クラブハウス内に換気設備を4基新設しました。使用人数も増え、屋内シャワーの湿気対策です。



③ジュニアユースプログラムのシャワー等の水道光熱費

2020年度より、ジュニアユースプログラムの一部にも使用していきます。子供たちはクラブの宝です。

